

電気学会とは

- 1888年(明治21年)創設 初代会長 榎本武揚
- 会員数：個人22,000人、法人400社
- 電気学会誌、論文誌(電子ジャーナル版)5誌を毎月発行
- 全国大会・部門大会6件を毎年開催
- 研究会・専門委員会230件以上を定期開催
- 国際会議を毎年国内にて開催
- 若手技術者の国際交流活動約10件を助成
- 表彰制度により約40件を毎年総会で表彰
- 規格標準化(JEC制定、IEC審議)を推進
- 電気工学関係の教科書・専門書の発行



初代会長 榎本 武揚
(通信総合博物館提供)

ごあいさつ

電気学会は、1888年(明治21年)に時の逓信大臣榎本武揚等が創設した「学者・技術者で構成する会員組織の学術法人」です。既に130年を越える歴史と社会貢献の実績を有する学会ですが、絶えず改革を実施し事業活動の活性化につとめております。現在会員数は21,000名弱で、電気学術の習得に情熱を傾けている勉学の徒から、大学・企業の第一線で活躍の研究者・技術者に至るまで、幅広い層の方々の参加協力・支援を得ております。

1991年(平成3年)からは、組織体制を刷新し部門制を採用しました。これは多様化する電気学術分野を専門領域に分け、学会活動をより深くより柔軟に探求できるようにしたものです。電気学術分野も今や電気工学とその応用技術の範囲は電力・エネルギー、産業応用、電子・情報・システム、材料、センサ等から広くは、生命、情報、環境の分野にも応用分野は及んでおります。

電気学会では、今後も時代の変遷・進展にあわせ、また国際的視野に立って、電気学術全般の研究・調査活動やその成果発表を通じて、社会貢献を続けていきたいと考えております。皆様の当学会活動へのご参加とご理解、ご支援・ご協力をお願いする次第です。

《学会の使命》 「電気技術の知識を会員同士が交換し合い以って其学・其業の発展に寄与する」

- ① 研究発表会、講演会、講習会および見学会の開催
- ② 会誌および図書の発行
- ③ 調査・研究の実施および標準の制定
- ④ 教育支援事業の促進
- ⑤ 国内外の関係団体との協力および連携

会員の特典

会員だけが受けられる主な特典

- ・ 毎月、電気学会誌をお届けします。
- ・ 電子ジャーナル版の学会誌・論文誌(所属部門誌)が閲覧できます(学生会員は全ての論文誌が閲覧できます)。
- ・ 共通英文論文誌を会員料金で年間購読できます。
- ・ ご希望により本会ドメイン名のメールアドレスを差し上げます。
- ・ メールマガジン等のE-mailを用いた各種情報サービスを受けることができます(部門・支部の大会・研究会・講習会・講演会など各種イベントのご案内がタイムリーに入手できます)。
- ・ Webを通じて「Myページ」に入り、ご自身の会員登録情報・委員履歴などの閲覧ができるとともに、ご自身のキャリアデータベースを管理できます。
- ・ 電気学会発行の出版物が会員割引価格で購入できます。
- ・ 各種大会、講演会、講習会、公開講座、見学会、セミナー等の参加費が割引されます。
- ・ 国際会議出席に要する費用の助成を受けることができます。
- ・ 論文誌(部門誌)の掲載料が会員料金になります。
- ・ 優秀な論文、研究活動に対する表彰を受けることができます。
- ・ 在会10年以上の正員の方は、「IEEEJプロフェッショナル」としてご申請できます。IEEEJプロフェッショナル制度は、専門的技術力・豊富なご経験を生かし、企業向けの技術コンサルタント、セミナーや講習会等の講師、理数科教師補助や実験指導員などとしてご活躍頂く機会を提供していく制度です。
- ・ 事務所内の会員談話室を利用できます。

事業維持員の特典

- ・ 毎月、電気学会誌をお届けします。
- ・ 電子ジャーナル版の学会誌・論文誌機関利用が割引されます。
- ・ 電気学会発行の出版物が会員割引価格で購入できます。
- ・ 全国大会の参加費が割引されます。

[さらに10口以上ご加入頂いた事業維持員の皆様には、次のサービスもございます]

- ・ 電気学会論文誌(月間5種類)のCD版(1年分)が無料配布されます。
- ・ 電気学会電気規格調査会標準規格(JEC規格)新版・改訂版が無料配布されます。
- ・ 電気学会技術報告が無料配布されます。

入会の手続き

電気学会にご入会なさるには

● Webからのお申込み

下記のURLからオンライン申込みいただけます。お申込みを受付次第、払込用郵便振替用紙を郵送しますので、お申込みください。クレジットカード払いもご利用頂けます。

https://www.iee.jp/enrollment/individual_member/

● 電話によるお申込み

お気軽に「電気学会入会のおすすめ」をご請求ください。「電気学会入会申込書」と「払込用郵便振替用紙」をお送りします。
電話：03-3221-7312

E-mail：member@iee.or.jp

ただし、入金の確認をもって申込み完了となります。

申込み完了の翌月中旬頃、会員番号の通知が送付されます。

	正員	准員	学生会員	事業維持員(1口)
入会金	1,200円	800円	-	-
年会費	10,000円	5,400円	4,800円	30,000円

学生会員：現在在学中の方は学生会員として登録できます。大学院生で学生会員として登録を希望される方は在学証明書または学生証の写しを添えてお申し込みください。なお、大学院修了後は、准員を飛び越え正員となります。

准員：大学学部卒業後2年間、高専・短大卒業後4年間(高専専攻科卒業後は2年間)、高校卒業後6年間、その他はこれに準じます。

正員：准員の年限をこえた方

他の学協会にすでに入会されている方

電子情報通信学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会にすでに入会されている方は、入会金が相互に免除されます。また、日本工学会に加入している学協会(詳しくは、日本工学会ホームページをご覧ください)および日本技術士会に入会されている方も入会金が免除されます(本会へ入会する場合のみ適用)。

その学会の在会証明書または会員証のコピーを、入会申込書に添付してください。

プライバシーポリシー(電気学会個人情報保護ポリシー)一部

平成18年4月26日(理事会制定)

■ 個人情報の利用

電気学会は、収集した個人情報については、その目的を達成するために必要な範囲で利用いたします。ただし、次のいずれかに該当する場合は、収集目的以外に利用あるいは情報提供を行うことがあります。

- ・ 法令の規定にともなうとき
- ・ 情報提供者の同意が得られたとき
- ・ 電気学会事業目的の達成に必要な範囲内において、個人データの取り扱いの全部あるいは一部を外部の業者に委託する場合(例えば、会誌の発送、会費の請求などでは、これに必要な情報を業務委託した会社に託すことがある)
- ・ その他、電気学会の総会あるいは理事会において、正当な理由があると認められたとき

プライバシーポリシーの全文は、電気学会のホームページをご覧ください。

主な事業内容

研究・調査活動

専門分野毎に時代に即応したテーマを毎年見直して専門委員会を設け、精力的な活動を続けております。研究調査の成果は、委員会終了後に技術報告として取り纏め発行しております。現在活動中の委員会は230以上にも及んでおります。

全国大会・部門大会等

大学・高等専の先生や学生、各種研究機関・企業等の技術者が研究成果を発表する場として、全国大会、部門大会があり、それぞれ年1回開催しております。これらの大会では、特別講演、シンポジウム、市民講座、子供理科室、展示会等を併催しております。

科学技術啓発

電気技術に関する啓発を広く推進するため、会員だけでなく、一般の方々も対象とした講演会、公開講座、講習会、見学会、セミナー、理科室等を開催しています。また広く社会一般に向けたシンポジウム、公開討論会もタイムリーに開催しております。

支部活動

全国に9つの支部と15の支所が置かれ、支部連合大会、講演会、見学会等地域に密着した特色豊かな活動を行っております。

技術者教育事業

「小学生から社会人まで」広い視野で電気技術への意識醸成と技術者育成を目的に技術者教育事業を積極的に推進しております。日本技術者認定機構（JABEE）の認定審査への参画、継続的な自己研鑽の支援、高等教育や初等中等教育への支援、理科実験事例の開発や支援、本会における技術者資格認定制度の検討等多面的な取り組みを行っております。

国際交流

諸外国の電気系学会と協力協定を結び、学術交流、相互受益供与等を行っております。日本、中国、韓国、香港が中心となり開催する電気技術に関する国際会議（ICEE）をはじめ、パワーエレクトロニクス国際会議（IPEC）、パワー半導体デバイス国際シンポジウム（ISPSD）等、各種の国際会議を電気学会は企画し実施しております。

規格標準化

電気機械器具・材料等の標準化に関する事項を調査審議し、電気分野における標準化を通じて、広く社会に貢献することを目的として、次の主な事業を行っております。

- ① JEC（電気規格調査会標準）規格の制定および普及
- ② IEC（国際電気標準会議）規格に係わる審議
- ③ JIS（日本工業規格）に係わる審議
- ④ 国内外の標準化機関との協力および連携

フェロー制度

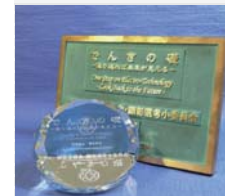
電気・電子・情報通信とその関連分野技術の見識に優れ、責任ある立場で長年にわたり指導的役割を果たし、社会および本会の発展に顕著な貢献をなした会員にフェローの称号を授与しております。

表彰・助成

電気学術や技術の発展に貢献した方、電気技術を応用した製品・設備等を開発した方、優れた学術論文を発表した方、優秀な技術報告をまとめた専門委員会、工業高等学校生・高等専門学校生を対象とした電気主任技術者資格合格者への表彰、また学術振興活動（含優秀論文発表）、海外で行われる国際会議への出席者、海外研究者を招聘する際の費用等への助成を実施しております。

でんきの礎

20世紀に大きな進歩を見せ、「社会生活に大きな貢献を果たした電気技術」を振り返り、その中でも特に価値のある“モノ”、“場所”、“こと”、“人”を顕彰し、次世代に継承していくためその功績を称えております。



電気学会誌・論文誌（部門誌）の発行

電気学会誌

全会員に毎月配布されるもので、随想、解説、取材、技術探索、学生のページ等、電気に関する最新的话题を分かりやすく・読みやすく掲載し、会員の方々の知識向上を図るよう努めております。

電気学会論文誌（部門誌）電子ジャーナル版

電気学会では次の5つの論文誌（部門誌）を発行しております。

- 論文誌 A（基礎・材料・共通部門誌）
- 論文誌 B（電力・エネルギー部門誌）
- 論文誌 C（電子・情報・システム部門誌）
- 論文誌 D（産業応用部門誌）
- 論文誌 E（センサ・マイクロマシン部門誌）

これらの論文誌（部門誌）には、論文委員会の審査を受けて採択された論文を初め、当該分野の解説記事等が掲載されており、それぞれ高く評価されております。

学術図書の発行

電気学会では電気工学に関する研究と進歩とその成果の普及を図り、学術の発展と文化の向上に寄与するため、半世紀にわたり出版事業に携わっております。中でも大学講座シリーズは大学、高専などや技術者の教科書、参考書として定評を博しております。すでにこれらの図書で学んだ人たちは数百万人に及んでおり、現在各界の指導者として活躍されている方々も数多くおり、一つの伝統を生むに至っております。

学術、技術の進歩、教育の改変等時代の潮流に対処すべく企画、編集している教科書をはじめ、電気工学分野の体系化した電気工学ハンドブック、最近の技術等を集約した専門工学書、さらに最近では一般社会の人々に分かりやすく専門の知識を普及することを目的に企画した技術啓発書や、大手民間出版社と共同企画で出版する教科書等多様な図書の出版を行っております。

主要な出版図書

- 電気工学ハンドブック
- 大学講座（学部教科書）
- 専門工学書
- 技術啓発書
- 技術報告
- 標準規格 JEC
- 専門用語集

